

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

12

平成9年
(1997)
月号
NO.493



どれどれ、大谷往来って何だべなあ？

創作コメディ「大谷でござる」

(大谷往来シンポジウム・12/7)

私たちの夢を託して 見えてきた 生涯学習センター



21世紀に向けた朝日町の新しいシンボル「(仮称) 朝日町生涯学習センター」の設計案を決める提案競技公開ヒアリングと最終審査会が10月26日、町中央公民館で行われました。

審査の結果、最優秀作品は、㈱スタジオ建築計画の設計案に決定しました。

今月は最優秀作品が決定されるまでの経過を振り返ってみます。



(仮称) 生涯学習センターは 新たな町づくりの拠点となる複合施設

役場庁舎南側に町の中核的な文化施設として整備を計画しているのが、(仮称)朝日町生涯学習センター(以下「生涯学習センター」)です。このセンターは、「中央公民館」「文化会館」「図書館」「エコミュージアムコアセンター」などの四つの主要施設で構成される複合施設で、平成十二年度完成の予定です。

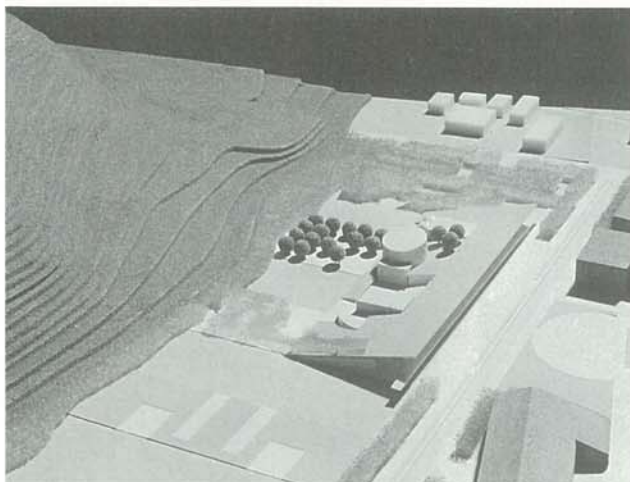
「複合施設ってなあに。その必要性は?」と、思った方もいると思われます。なぜ生涯学習センターを複合施設にする必要があるのでしょうか。

朝日町は、平成六年三月に「生涯学習の町」を宣言しました。生涯学習は、自分を高め生活を豊かにするための自主学習です。これらを実践するために全町民を対象とした町民大学を開設し、文化活動やスポーツ、家庭教育などの各種事業を展開しています。

しかし、その拠点施設である既存の中央公民館は、非常に狭く機能が不十分のために、支障をきたしているのが現状です。また、講演会や演劇を行う専用の文化会館がないことや、中央公民館に併設されている図書館も狭く蔵書数が少ないことから、婦人会を中心に施設整備を望む強い要望がありました。これらのことから町民だれもが、いつでも気軽に利用できる生涯学習社会にふさわしい拠点施設が必要になりました。

さらに、エコミュージアムの町づくりを目指しているわが町において、エコミュージアムを一目で理解することができ、自主的な学習や地域についての調査、研究を行う拠点施設(エコミュージアムコアセンター)を整備する必要があります。町民のみならず、学ぶことを中心に町の活性化につなげていくといった点で、生涯学習とエコミュージアムは共通した町づくりであり、これらの機能を併せ持った総合的な複合文化施設を整備していこうというものです。

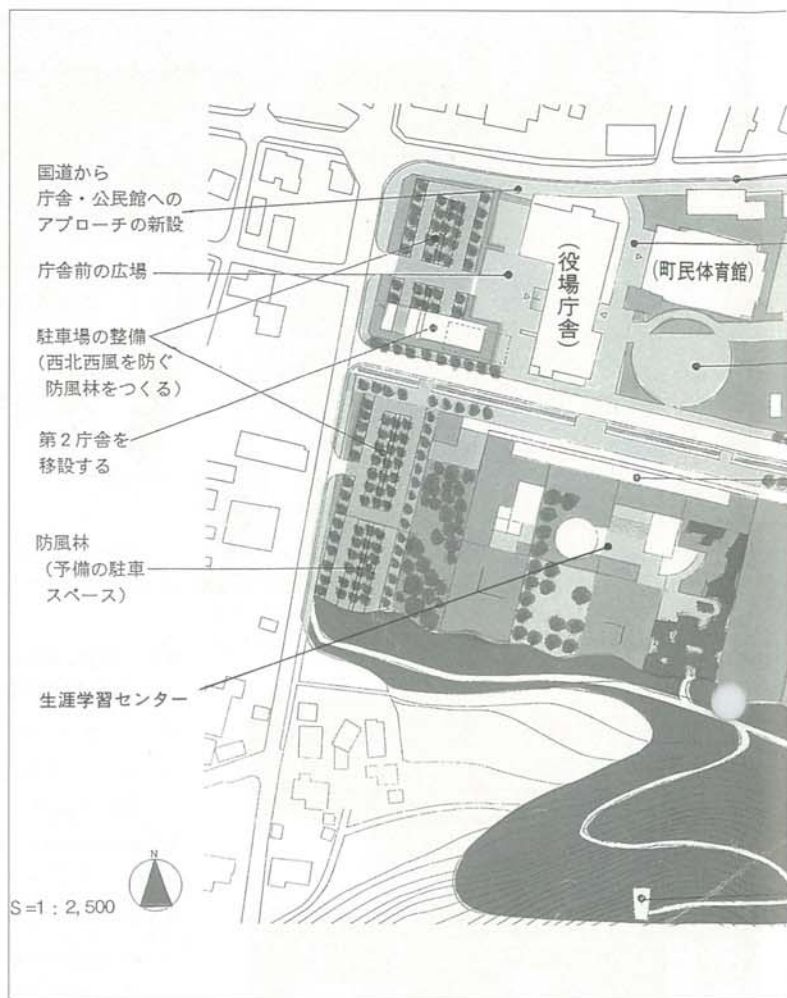
また、町の人口規模や財政面からみても「複合施設」が最適であり、会議室の兼用や管理体制の効率化などで費用をできるだけ低く抑え、利活用の効果を最大限に高めることをねらって



提案競技で最優秀作品に輝いたスタジオ建築設計（東京都）の生涯学習センター配置図(案)。役場などの既存施設との総合的な環境整備が予定されている。



役場南側に建設予定の生涯学習センター



生涯学習センターイメージ図

います。

完成後には、生涯学習センター自身が持つ機能はもちろんのこと、イベント広場や自然を生かした周辺環境整備が行われ、役場などの既存施設と結び付いた施設群となる予定です。

これらは、二十一世紀の町づくりの拠点施設として、また町民が全国に誇れるシンボルの形成および「エココミュニティの朝日町」を町内外にアピールするうえにおいても、非常に大切な役割を持つこととなります。

町民の声を

施設整備に反映させるために

町では、生涯学習センター施設整備にあたり、施設の利用者である町民の意見をより反映させるため、平成八年度に「建設検討委員会」を設置しました。

この委員会は、町民の代表二十七名が、「中央公民館」「文化会館」「図書館」の三つの機能部会に分かれ、構造面や機能面、利用面についての意見や要望を集約し、町に提出してもらおう

とおまかな施設整備に関する考え方が固まってくると、次に必要となるのが基本設計です。

魅力的な生涯学習センターを整備するために、建築家に提案競技方式による設計案を求めました。提案競技とは、施設の設計に対する発想や考え方を複数

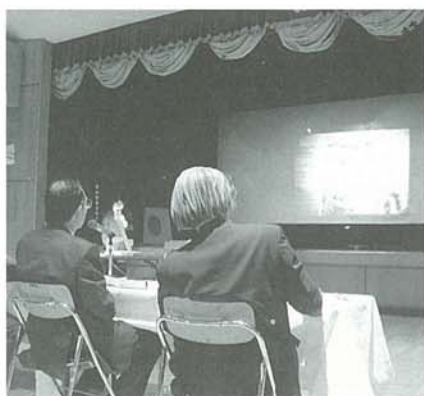
提案競技方式で 優秀な設計案を求めた

魅力的な生涯学習センターを整備するために、建築家に提案競技方式による設計案を求めました。提案競技とは、施設の設計に対する発想や考え方を複数





一次審査を通過した5人の提案者が、各々10分間の持ち時間で作品の概要を説明した公開ヒアリング



スクリーンに映し出された設計案を審査員や町民にどのように説明するのか、提案者の力量が問われる

表① (仮称)朝日町生涯学習センター
施設整備設計案提案者

番号	提案者名	住所
①	㈱スタジオ建築計画	東京都◎
②	㈱泰・伊藤設計	山形市○
③	㈱本間利雄設計事務所	山形市○
④	㈱プランツ・アソシエイツ	東京都○
⑤	早川邦彦建築研究室	東京都○
⑥	㈱三橋建築設計事務所	寒河江市
⑦	㈱鈴木建築設計事務所	山形市
⑧	㈱羽田設計事務所	山形市
⑨	針生承一建築研究所	仙台市
⑩	日新設計㈱	仙台市

○は公開ヒアリング対象作品
◎は最優秀作品

町では、提出された十点の設計案から最優秀作品を決定するために、審査会を二段階に分けて実施することにしました。その第一次審査が十月六日、役場を会場に六人の審査員が一同に集まって行われました。

審査する六人の目には すべての設計案に情熱が感じられた

全審査員で評価・検討した結果、五つの設計案が最終審査会へ選出されました。しかし、提出されたいずれの設計案も、建築家としての情熱がひしひしと感じられる、すばらしいものばかりでした。

の建築家に提案させ、その内容を審査し優秀な作品一点を決定する方法です。提案者には、類似施設の設計において、全国的に実績のある県内外の十社(表①)を指名しました。

朝日町はもちろんのこと、県内でも初めての試みとなる提案競技方式を採用した背景には、町や地域の考え方を具体的な形にするアイデアを求めたのほも感じられました。

ちろんのこと、設計案の採用にむけ建築家同士が競い合うプライドとその熱意に、町民の夢を託したわけです。提案者の中には、町のことや整備対象地域の状況を知るためにわざわざ朝日町を訪れ、構想に取りかかった意欲ある方も見受けられました。これらの一連の動きには、町の新たな活性化への芽生えすら感じられました。

審査員プロフィール



●審査委員長 五十嵐治也氏
(東北芸術工科大学デザイン工
学部長)



●審査員 小沢 明氏
(建築家/東北芸術工科大学デ
ザイン工学部教授)



●審査員 高野 公男氏
(都市計画家/東北芸術工科大
学デザイン工学部教授)



●審査員 長谷川逸子氏
(建築家)



●審査員 西澤 信雄氏
(朝日町エココミュニケーション研究
機構主任研究員)



●審査員 清野 隆
(朝日町長)



町民の声を十分 反映した施設整備を

松田 昌弘さん
(大町)

生涯学習センター建設にあたり一番大切なことは、町民だれもが使いやすい施設にすることです。ばく大なお金をかけ、いくらりっぱな施設を作っても、利用されなければ宝の持ち腐れとなってしまう。今回の提案競技により設計案は決定したわけですが、行政は基本設計ができる前に、建設検討委員会や町民の意見を十分に聞き取る必要があると思われます。

建物は一度作られてしまうと、なかなか直すことはできません。検討に検討を重ねて、だれもが使いやすい生涯学習センターにしていかなければならないと思います。

町づくりは人づくりから始まります。文化の薫り高い暮らしを実感するためにも、ぜひお願いします。



気軽に利用できる 生涯学習センターを

阿部 チヨさん
(松程)

朝日町は生涯学習の町を宣言し、町民大学などの各種事業が行われています。婦人会でも婦人まつりを始め、さまざまな活動を展開していますが、既存の中央公民館では会場が狭く、婦人まつりのときにはホールに入りきれないときもありました。この度、生涯学習センターが建設されることをお聞きし、とても喜んでいるところです。また、発表会などに使用できる文化ホールも整備されるようなので、各種教室がこれまで以上に盛んに行われるのでは、と思っています。

やはりこれからは、生きがいづくりが大切な時代。だれでも気軽に利用でき、情報交換のできる生涯学習センターにしていきたいと思います。

設計案を町民に明らかにした 公開ヒアリング

今回の生涯学習センター施設整備のキーワードは、「町民の参加」と「情報の公開」です。最優秀作品が決定される過程を町民に、より明らかなものにするための公開ヒアリング（公の場で提案者に設計案の説明を求め、行為のこと」と最終審査会が十月二十六日、中央公民館で行われました。

ヒアリング対象設計案は、第

私たちの夢を託した扉が今

開かれるとき

生涯学習センターはこれまでのように、町はつくる側、町民

は使う側というような区分されてできる施設ではなく、町民と町が設計段階から一緒になって作り上げていく初めての施設となります。最終審査会では、町のシンボルにふさわしく、建物や広場などの自由空間に、自然との調和を意識した設計案が決定されました。

今後は、設計案を建設検討委員会にさまざまな角度から論議していただき、その意見、要望を基本設計に反映したいと考え

一次審査を通過した五作品です。町民約八十人が参加するなか、ホール正面のスクリーンに、設計案が大きく映し出され、提案者が十分間で作品の概要を説明しました。

町民の中にはカメラやビデオで設計案を撮影したり、熱心にメモを取ったりする姿も見受けられ、生涯学習センターに対する意識の高さが感じられました。

ています。

また、実際に施設を利用する町民のみならず、町の意見や要望、特集を読んだ感想などを広く募集します。どしどし事務局にお寄せください。これらの全てが結集したときこそ、全国に誇れる生涯学習センターができあがるはず。

二十一世紀の新しい町づくりは、町民と町が一体となって作り上げる「生涯学習センター」を拠点にスタートします。まさに私たちの夢を託した扉が今、開かれようとしているのです。

審査にあたって

今、「自然」を論ずるとき、あるがままの姿を第一の自然といい、人間の営みを包括しての現状を第二の自然と称する考えがあります。今回の生涯学習センター施設整備は、世情万般にたづらに都市化が進むなかで、自然との調和を第一に考え、いかにも朝日町らしさを秘めた画期的な計画であると感じました。

設計案の最優秀作品を決定するにあたり、一次審査を通過した五作品は、どれも優れた提案内容でした。その中でも、株式会社建築計画の設計案は、単に切れ味のよい都市的造形を求めるのではなく、朝日町の自然と人がなじみ響き合える提案内容であったと思われます。盛り上がる大地に抱かれるような姿、その中に営まれるであろう人々の動き、雰囲気。第二の自然の象徴がまた一つ、朝日町に生まれるものと確信しています。

審査委員長 五十嵐治也

◆（仮称）生涯学習センターに関するご意見・お問い合わせは、役場企画課（☎67-2112）または、「広報あさひまち」の折り込みはがきに記入のうえ郵送してください。

町づくりに尽力

今年度の自治功労など、長年にわたり町づくりに貢献されたみなさんの表彰式が十一月二十日、町中央公民館で行われました。受賞者は次の十二名のみなさんです。

朝日町自治功労者等表彰

自治功労表彰

●阿部憲一郎氏（真中）

昭和五十七年から十五年間の長きにわたり町人権擁護委員を歴任され、人権思想の普及高揚に貢献。人権モデル地区の活動にも尽力し、明るい地域づくりに寄与されました。

●多田積氏（大町）

昭和六十三年から九年間の長きにわたり町人権擁護委員を歴任され、人権思想の普及高揚に貢献。人権モデル地区の活動にも尽力し、明るい地域づくりに寄与されました。

受賞者のみなさん

●阿部正義氏（松程）

昭和六十一年から十年間の長きにわたり西部地区振興協議会長を歴任され、地域の課題解決と各種事業の進展に寄与されるなど、地域の振興発展に貢献されました。

社会福祉功労表彰

●渡辺久男氏（大町）

十数年間にわたり心身にハンディを持つ多くの方々に働く場を提供し、その自立を助け明るい希望を与えるなど、社会福祉の向上に貢献されました。

●海野つる氏（西船渡）

多年にわたり寝たきり老人介護訪問指導や母子保健推進員などを歴任され、保健福祉の向上に尽力。ボランティア団体の結成と奉仕活動の推進などにも貢献されました。

交通安全功労表彰

●多田光義氏（太郎三）

昭和四十九年より多年にわたり大江地区交通安全協会理事および西五百川支部長を歴任され、交通事故防止と交通安全思想の普及啓蒙に貢献されました。



冬こそスキーで健康づくり

周りの高い山も雪化粧して、本格的な冬の訪れとともにスキーシーズンの到来です。

朝日自然観では、今シーズンもとってもお得なパック商品を用意しています。冬期間の健康づくりにスキーはいかがでしょう。

☆ウィークデー日帰りパック

月曜日から金曜日までの平日に限り、リフト共通1日券（大人3,000円、小人2,000円）に昼食券（ランチメニュー＋コーヒー）がついても価格はそのまま（大人3,000円、小人2,000円）といった、大幅割り引きパックです。比較的すいている平日なら思う存分滑ることができ、スキーやスノーボードの技術も上達まちがいなしです。

☆ジョイフル宿泊スキープラン

スキー場到着から翌日の出発までのリフト乗り放題とホテルの宿泊（1泊2食付）がセットになって11,500円（消費税別）と、お得な価格になっています。2泊以上のコースもあります。

☆レディース&シルバーウェンズデー

毎週水曜日は、女性と65歳以上のシルバー世代に限りリフト1日券とレンタルスキーが半額になります。女性とシルバー世代は水曜日がねらいめです。

●これらのパックは、年末年始および祝祭日をのぞく期間のみとなります。詳しいことのお問い合わせは朝日自然観まで（☎0237-83-7111）



善行褒賞

●石塚千代太氏（四ノ沢）

多年にわたりスキーの技術指導や書道を通じた青少年の指導育成、各種行事のビデオ撮影などに尽力され、地域の公民館活動の充実に貢献されている行いは他の模範です。

●長岡勇一氏（太郎一）

多年にわたり保育園児に年越しそばを提供され、子供たちや父母の会などに喜ばれている行いは他の模範です。

●小野まさ多氏（大谷六）

多年にわたり大谷地区運動広場の公衆トイレや駐車場の環境

美化に奉仕されている行いは他の模範です。

技能者表彰

●近藤武雄氏（栄町）

四十五年間の長きにわたり建築大工の職に精励され、職業訓練指導員の資格を生かしながら技術向上に尽力されるところに、業界の振興発展に寄与されている行いは他の模範です。

●貞神好子氏（宿）

昭和三十四年より三十八年間の長きにわたり理容職に精励され、技術向上に尽力されるところに、業界の振興発展に寄与されている行いは他の模範です。

●長岡昭子氏（松程）

昭和三十八年より三十四年間の長きにわたり理容職に精励され、技術向上に尽力されるところに、業界の振興発展に寄与されている行いは他の模範です。



清野町長より一人ひとりに手渡された

多田きよ子さんが 勲六等宝冠章を受章

秋の叙勲で、多田きよ子さん（大町）が勲六等宝冠章を受章されました。

多田さんは、昭和十八年に助産婦の資格を取得し、同二十二年旧宮宿町で開業。現在まで約千人の出産に立ち会いました。さらに、民生児童委員として平成五年に県知事表彰、母子保健功労で同七年に厚生大臣表彰を受けるなど、地域福祉に大きく貢献されたことが認められ、叙勲の榮に浴されたものです。



鈴木清次郎さんが 通商産業大臣表彰を受賞

鈴木清次郎（大町）さんに、通商産業大臣よりLPガスの部保安功労者の表彰状が授与されました。

鈴木さんは、LPガスに関する保安意識が高く、創業以来四十年間無事故を続けており、関係業界の指導や消費者の事故防止の啓蒙活動に貢献された功績が認められたものです。

鈴木さんは、「今後もガスによる事故防止のため、努力していきたい」と語ってくれました。



日本一の無袋ふじをPR

朝日町りんごキャンペーン

朝日町りんごキャンペーンが十一月十三日、十四日の両日、山形市の山形銀行本店前で行われました。

このキャンペーンは、日本一の品質を誇る町特産の蜜入り無袋ふじの販路拡大と、間もなく迎えるスキーシーズンにおける朝日自然観スキー場への誘客を目指して行われたものです。

当日は、ふじと王林が産地直送の特別価格で売り出され、道行く人々は甘くておいしい朝日りんごを味わって、お買い得とばかりに次々と買い求めていました。

また、十七日、十八日の両日には、同銀行仙台支店前でもキャンペーンが行われ、フルーツ王国山形の「りんごの里 朝日町」をアピールしました。



大好評だったりんごキャンペーン（山銀本店前）

『お江戸ではげざらぬ、大谷ではげざる。』

元禄のミニシアターを再現しようと十二月七日、秋葉山交遊館で「お江戸ではげざらぬ、大谷ではげざる」と題したシンポジウムが行われました。これは江戸時代に寺子屋で使われた『大谷往来』をテーマに、町エコミュニシアム研究会（西澤信雄代表）が開催したものです。

シンポジウムでは、NHKの「コメディお江戸ではげざる」をヒントに大谷五の筆友会と劇団「りんご村から」のみなさんが、『大谷往来』をユニークに紹介する創作コメディ「大谷ではげざる」を熱演。本家でお重さん役の女優・重田千穂子さんもゲストで登場し、会場に詰め掛けた約三百五十人の観客からは、盛んな拍手や笑い、おひねりが次々と飛んでいました。

続いて重田さんのトークの後、大谷郷土史学習会事務局長である堀敬太郎さん（大谷一）ら四人の有識者が、『大谷往来』をさまざまな切り口から検証。参加者は、町の宝物である『大谷往来』を通して、町の素晴らしい風景や文化、物産などを再認識していました。



すべてが手づくりの創作コメディ「大谷ではげざる」



約350人の観客で会場はいっぱい



●創作コメディ「大谷ではげざる」あらすじ

江戸で評判になっている「大谷往来」を見に、「お江戸ではげざる」のいじわるなお重ばあさんがやって来るようになりました。村人は「大谷往来」のことが分からず、お重ばあさんが来ると言うので大騒ぎ。困っていると、寺子屋で「大谷往来」を習っているという子どもに出会いました。さっそく村人たちは、寺子屋の彦七先生に教わりに行くことになりました。

村人は彦七先生と問答を繰り返しながら、どうして「大谷往来」をつくったのか、それがどんなものなのかを教わりました。

お重ばあさんがやって来ました。評判通りのお重ばあさんに、村人はタジタジ。そのお重ばあさんが、「大谷往来」にある大谷村の名所や名物に触れてみて感激しています。お重ばあさんと一緒に村人も自分たちの住む大谷村が、本当は他に誇れる素晴らしい所なんだと気づいていきます。



お重ばあさん(右から6人目)に負けず劣らずの演技で観客を魅了した村人たち



彦七先生(長岡藤夫さん役)が村人に「大谷往来」を使った授業を展開



「大谷往来」をさまざまな角度から検証したシンポジウム



「大谷往来」に登場する場所の写真展も同時開催



堀敬太郎さんが「大谷往来」を分かりやすく説明

まちの話題

まちの話題…① 第18回朝日町産業まつり



町産業界総力をあげた フェスティバル

第18回朝日町産業まつりが11月22日、23日の両日、町民体育館を主会場に開催されました。

「21世紀に向け元気で跳ぼう朝日町」

をテーマにした同まつりには、町の商・工・農業が大集合。町産業の移り変わりを紹介したパネル展や商工業品の展示会や即売会などが繰り広げられ、会場は多くの参加者でにぎわいました。

また、民有林造林コンクールと町工業振興協議会優秀技能者の表彰が行われるなど、町産業界総力をあげたフェ

スティバルになりました。

さらに町商工会が中心となって開発し、東北むらおこし物産展で銀賞に輝いた「あさひりんご冷麺」や「あさひりんごサブレ」などが展示され、参加者は「これが話題のうまいものですか。ぜひ味わってみたいですね」と、展示品を手に取りながら語っていました。

まちの話題…③ 朝日自然観森のときめき塾



ソムリエ気分で 朝日町ワインを楽しむ

朝日自然観森のときめき塾が11月11日、朝日自然観で行われました。

これは、ヌーボーワインを中心とした朝日町ワイン13種類のピーアールと、

チーズフォンデュなどの新しいディナーを楽しんでもらおうと開催されたものです。

この日は、町内外から女性グループやカップルなど約50人が参加。参加者は、ソムリエ感覚で楽しむワインにほろ酔い気分で、すてきな一時を過ごしていました。

まちの話題…② 文化講演会

地方こそが文化の発信地

伊奈かつぺいさんをゲストに迎えた文化講演会が11月16日、町中央公民館で開催されました。

この日は約230人が参加。「伊奈かつぺいの講演会ごっこ～文化の発信は地方から～」と題した講演では、あたりまえと思っていることを違う視点で考えてみることの大切さや、地方にしかない不思議な風習などを津軽弁でリズムカルに語りかけなど、会場は笑いの渦に巻き込まれました。



まちの話題…⑤ 第17回朝日町りんご品評会



最優秀に輝いた日本一の無袋ふじ

日本一のりんごが大集合

朝日町りんご品評会が11月22日、23日の両日、町農業団地センターで開催されました。

同品評会は町の特産物である「無袋ふじ」のピーアールと栽培技術の向上を目指し、昭和54年から始まったもので今年で17回目を数えます。今回も「り



んごの里朝日町」にふさわしいレベルの高い161点が出品されました。

審査結果は次のとおりです。(金賞まで・敬称略)

- ◆最優秀賞 村山茂雄 (大谷七)
- ◆優秀賞 今井賢一 (前田沢)
- ◆金賞一席 村山征一 (大谷七)
- 金賞二席 海野清一 (八ツ沼)
- 金賞三席 斎藤興治 (常盤)

まちの話題…⑥ 第1回町民柔道大会

大技小技が次々と

町民柔道大会が11月16日、町民武道館で行われました。

同大会は今年初めて開催されたもので、小学生から一般までの男女46人が参加。年齢別の4部門で行われ、レベルの高い白熱した戦いが展開されました。また、町の外国語指導助手のニー



ルさんも参加するなど、国際色豊かな大会になりました。

まちの話題…⑧ 収穫祭

収穫の喜びを体験

「りんごの樹オーナー制」と「ときめき農園」の収穫祭が11月9日、各園地と秋葉山交遊館で開催されました。

いずれの制度も今年初めて企画されたもので、この日は約80人が参加。参加者は、丹精込めて育て上げたりんごや野菜を大切に収穫していました。

また、収穫した農作物を持ちよった収穫祭を開催。農作業の体験談や自慢話を語り合いながら、楽しい一日を過ごしていました。



まちの話題…④ 県農業賞

おめでとうございます

浅岡米五郎さん(元町)が大高根農場記念山形県農業賞を受賞されました。

この賞は、東根市大高根に大正9年、青年の農業研修の場として開設された大高根農場にちなみ、昭和34年から農業の振興、発展に貢献した人たちを顕彰しているものです。

浅岡さんは、以前に朝日町農協営農部長を務められ、同農協の育成に貢献し、無袋ふじの販路開拓や銘柄産地の確立に尽力された功績が認められての受賞となりました。

受賞しての感想をお聞きしたところ、「関係各位のご協力により素晴らしい賞をいただくことができました。これからも農業発展のため全力を尽くしていきたい」と語ってくれました。



まちの話題…⑦ 各種大会成績

スポーツもいよいよ大詰め

◆3 on 3 バスケットボール大会
(11/2 秋葉山交遊館多目的広場)

- 1位 たけみーズ
- 2位 後藤ファミリーズ
- 3位 たかしーズ

◆ミニグラウンドゴルフ大会
(11/2 秋葉山交遊館多目的広場)

- 1位 長岡石五郎 (大谷五)
- 2位 阿部康夫 (大谷五)
- 3位 早坂健一 (大谷五)

◆第1回町民柔道大会
(11/16 町武道館)

○小学生(1～3年)の部

- 1位 佐竹大助 (高田)
- 2位 佐藤雅彦 (前田沢)
- 3位 佐竹和人 (高田)
- 〃 志藤彩音 (能中)

○小学生(4～6年)の部

- 1位 佐藤慶子 (沼向)
- 2位 伊藤智美 (大町)
- 3位 佐竹隼人 (高田)
- 〃 白川ゆり (松程)

○中学・一般女子の部

- 1位 佐藤季莉佳 (新宿)
- 2位 柴田奈美 (大滝)
- 3位 児珠藍 (大町)
- 〃 成原由香 (西町)

○中学・一般男子の部

- 1位 鈴木秀則 (西船渡)
- 2位 和田翼 (小原)
- 〃 鈴木和也 (前田沢)
- 〃 遠藤慎太郎 (栗木沢)

◆北部地区婦人ビーチバレーボール大会
(11/16 町立北部体育館)

- 1位 ファイブジョンダース (大谷五)
- 2位 マドンナ (大谷二)
- 3位 スピードチーム (中沢)

◆第14回山形県都市対抗女子駅伝
(11/24 山形市)

第2区7位 浅岡若菜 (西町・朝日中学校・西村山地区代表)

◆小学生人権書道コンテスト

奨励賞/浅岡千賀(宮宿小)・柴田愛(上郷小)・阿部浩朗(西五百川小)・清野幸(送橋小)・遠藤南(大谷小)・長岡真美(立木小)・菅井千絵(和合小)

みんな の ひろば



大谷五ノ
阿部 安彦さん
静加さん



西船渡 新嫁さん

ときに、西暦1990年の北部体育館。大谷の若者たちが大きな野望を抱いて結成した「自営業ズ」。日本のミュージックシーンを根底から変えようと日々の練習が続いていたその矢先、肝心のボーカルが存在しないことに気づいた彼らは、あわてふためいて河北町から静加さんと呼び寄せました。ギター担当安彦さん、ボーカル担当静加さん、二人初めての出会いでありました。その後、友人たちの心温まる「しくまれた罌」によって、それまでの野望が恋の野望へと置き換えられたとき、お互いの心は急接近。1級技能の資格を持つ畳職人の阿部さんの心を射止めたのは、弓道2段の腕前を持つ静加さんの放った1本の矢でした。

あれから7年。羊年生まれ安彦さんが戌年生まれの静加さんに追いかけ回されている日々（豪州の羊放牧の景色）が今日も続いています。笑顔、笑顔。



すてきな
仲間たち

32

きょう ゆう
「蕎 遊 会」

そば打ちでストレス解消!

早いもので今年も師走。間もなく年越そばの時期を迎えます。西船渡のそば好き6人が集まり、あ〜でもない、こ〜でもないそば打ちを楽しんでいます。

発足は2年前、西船渡地区のビアガーデンで酔った勢いからでた言葉、「そばでも打ってみんべ」がきっかけで始まりました。現在は毎月1回練習会を行っています。始めは失敗もありましたが、今では親戚や知人に年越そばを配達できるくらいに上達?しました。

そばを打った後は、仲間のそばと食べくらべながら、話し合い(ビール付き)をするのが何よりの楽しみで、将来は「西船渡そば街道」を作りたいと、大きな夢を語り合っています。みなさんもストレス解消にそば打ちはいかがですか。(事務局 若月秀一 ☎67-2316)

(避難訓練のときに)
保 母 「火事のときは命が一番大切ですよ。みんなは命をいくつ持っているのかな?」
三歳児 「三個か五個」
保 母 「すごいっぱいあるね」
四歳児 「ちがうよ、十三個」
四歳児 「もっとあるよ、百個」
五歳児 「一個だよ。一個に決まってるよ」
保 母 「さすが、お兄ちゃん」



せんせい
ふたば保育園
あ・め・ね



村山 茂雄さん
(大谷七)

ひとことトーク

本物の味のする りんごづくりを目指して

～町りんご品評会で
最優秀賞を受賞～

朝日町りんご品評会で、思ってもみなかった最優秀賞を受賞し、自分でも驚いています。りんごづくりに従事して十五年になります。先輩方の指導をいただきながら基本を忠実に守り、一生懸命努力してきました。農業は自然が相手ですから、その年その年の天候に合わせた適期作業に気を配っています。また、品質の良い健康なりんごは、健康な土からということ、化学肥料を使わずに有機肥料を使っています。これらの成果が、今回の成績につながったのだと思います。

農業は、自然の恵みを多分に受けていますが、時には災害などにより、これまでの努力が水の泡になることもあります。今後とも、自然災害のないことを願って、本物の味のするりんごづくりに努力していきます。



本物のりんごが浮かんでいる



りんご温泉



従業員のみなさん

企業
ほうもん
(25)

(有)地球耕望
りんご温泉

電話 67-7888
FAX 67-2898

▼りんご温泉はどんな湯質なのでしょう。

県内の温泉でもめずらしいアルカリ性の湯質で、温泉に入ると肌がすべすべした感じがします。腰痛や神経痛、アトピーなどに効果があり、体の真から温まることができます。

▼お客様の反応はいかがですか。

とってもお得な年間入浴券や回数券の発行により、町内はもとより県内外から年間十万人以上の利用がみられます。また、本物のりんごを湯に浮かべますので、ほのかなりんごの香りが疲れた体をいやしてくれると好評です。

▼誘客に向け新しい企画はありますか。

平日利用のお客様へ得とくパックの実施や、楽しいイベントを用意しています。とってもお得になっていますので、ぜひご利用ください。

▼これからの抱負をお聞かせください。

心も体も温まるりんご温泉は町の宝物です。より町民のみなさんに親しまれる温泉になるよう頑張っていきます。

みなさんからの便利でつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、
質問など待っています。

町民の声

〔あて先〕 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係

りんごの販売戦略に

広 報あさひまち十一月号で紹介された新特産品、「あさひりんごサブレ」を家族みんなで味わってみました。パッケージから取り出したときのりんごの香りと、食べたときの味はいは、とてもさわやかに感じられ、子供たちにも「おいしい、おいしい」と大好評でした。

そこでりんご農家の方に提案ですが、贈答用のりんごにサブレを一枚か二枚、入れてみてはいかがでしょう。メッセージなども一緒に添えてやれば、贈られた方も喜ぶと思います。

ちよつとした心遣いが、固定客の確保につながりますし、「りんごの町 朝日町」をピーアールする最高の手段のような気がします。

【朝日町大好き人間】

答 貴重な提案ありがとうございます。農業を取り巻く情勢が非常に厳しい中で、農家の方々もただ作るだけでなく、さまざまなアイデアを出しながら、販路拡大を目指し努力しています。また、町でも十一月に山形市と仙台市で、りんごキャンペーンを行ったところです。

これからも消費者にピーアール活動を行っていきますが、今回のようなよいアイデアを教えてください。農家の方々にしても、また町にとってもたいへん参考になります。どんなことでも結構です。もしお寄せください。

【農林課】



くらんぼテレビが開局し、

さ

とても楽しみにしていました。しかし自宅のテレビアンテナでは、はっきりと見ることができずがっかりしています。

また、「テレビも見えない所に住んでいたくない」という、若者の声も聞こえてきます。若者の町離れも、こんなささいでたわいないと思われることから始まっているのです。ぜひ、町でも考えていただければと思います。

ればと思います。

【犬飼・真中】

答

さくらんぼテレビは今年四月に開局されました。当町では、大谷地区など一部の地域を除き受信できない状況にあることから、開局時にこの情報格差を解消されるよう同テレビ局に要望を行ったところです。

その後、多くの町民のみなさんより受信を望む声が寄せられており、十月に町長自らテレビ局に出向き、改めて早期解消について要望を行いました。

テレビ局では、年次計画に基づき整備を進めるとのことでしたが、「朝日中継局について事業費を早期に積算する」との回答が得られました。具体的な設置時期については未定ですが、一日も早く実現できるようこれからも強く関係機関に要望していきます。

【企画課】

今月も町政に関する意見や要望、広報を読んだ感想が寄せられました。

最近、住所・氏名を書いていないお便りが増えています。無記名の場合は掲載できないばかりか、直接本人にも返答することができません。匿名希望の場合でも、必ず氏名と住所を記入してください。

【総務課】

図書券が当たる

広報
◆
クイズ



【問題】

- ①右の写真は「昭和〇〇年から始まった朝日町りんご品評会」
- ②十二月七日に開催された「大谷〇〇シンポジウム」
- ③今年の自治功労者は「〇〇人」

【応募方法】

正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。

- 【十一月号の答え】①注口土器
②りんご冷麺③防災

【応募者総数】 四十人

【十一月号の当選者】 佐藤友美さん(沼向)・武田常雄さん(白倉)・白田さん(大谷五)



■11月1日～30日届出



すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	保護者名
宿 宿	若 月 梨 加 大 波 里 奈 鈴 木 雅 也	亨 智 幸 昇



おしあわせに

(婚姻届)

渡 邊 隆 生 (前田沢)	小 野 トシ子 (山形市)
大 滝 賢 吉 (下芦沢)	李 逢 燕 (韓国)
遠 藤 隆 弘 (真 中)	渡 邊 敦 子 (大江町)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
八ツ沼	阿 部 石 松	正 一
下芦沢	阿 部 貞 吉	正 春
元 町	阿 部 ミドリ	信 行
杉 山	安 藤 武	稔
古 槇	渡 邊 力 雄	本 人
助ノ巻	鈴 木 久次郎	俊 一
栄 町	寒河江 昭 司	和 茂
大 沼	小 林 忠 男	孝
大谷六	白 田 幸 太	幸 輝

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成9年11月30日現在

人 口	9,878(減 9)
男	4,909(減 6)
女	4,969(減 3)
世帯数	2,584(減 1)
	() 内前月比

くらしの知恵袋 ⑬

今月号も十月に開催された「うまいもの鍋コンテスト」でみごと準優勝に輝いた『キムチ鍋』を紹介します。これからは鍋が恋しくなる季節。渡邊美姫さん(送橋)が作る本場のキムチを使った鍋をぜひ味わってみてはいかがでしょうか。

◆キムチ鍋

《材 料》(5人分)

白菜キムチ1/2割り・豚肉200g(肉の嫌いな方はサバ缶1個)・豆腐1丁・ネギ2本・ニンニク小さじ2杯・しょうゆ大さじ1杯・ゴマ油小さじ1杯・食用油大さじ1杯・水3カップ

《作り方》①豚肉にしょうゆ、ニンニク、ゴマ油を入れて味をつける。

②鍋に食用油を入れて、①を軽く炒める。

③キムチと②を交ぜてもう一度炒める。

④③に水を入れて20分間煮る。

⑤④にネギと豆腐を入れて、少し煮込む。



渡邊美姫さん(送橋)



佐藤慶子・沼向
福祉施設の寮母さんになりました。お母さんに連れられて寮母さんの手伝いをしたときは、人のためになるこの仕事に感謝しました。



菅井康大・宿
将来は内科医になって、病気で苦しんでいる人を治療してあげたい。朝日町に開業したときは、みなさん僕の所へ診察に来てください。



斉藤陽・平
吉本興業に入社して、お笑い芸人になりたい。山形県のヒーローであるウド鈴木を目指して頑張ります。みなさん、ネタがあったら教えてね。



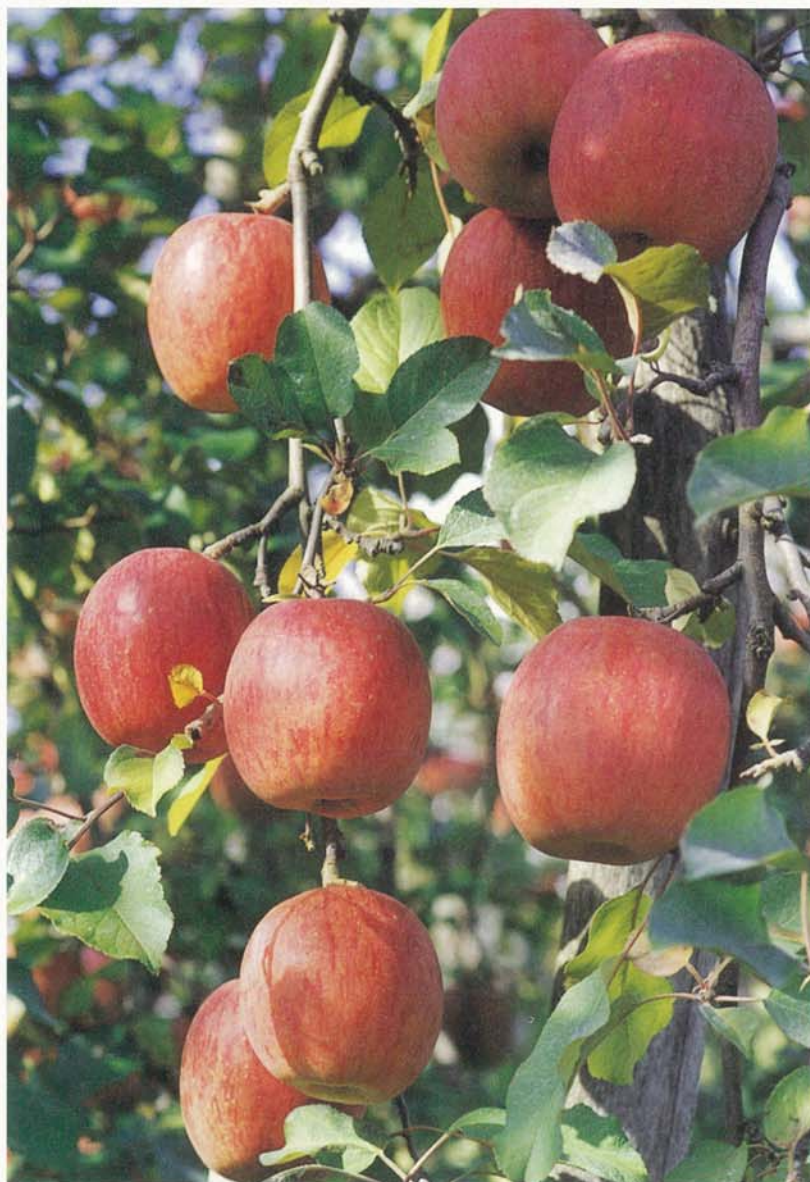
菅井千絵・大隅
オリジナルの洋服やアクセサリなどを売る専門ショップが欲しいです。私がデザインした服を着ている人を見かけたら、もう最高。

夢⑨

かたがうといひな
今月は和合小学校六年生です

●将来は内科医になって、病気で苦しんでいる人を治療してあげたい。朝日町に開業したときは、みなさん僕の所へ診察に来てください。

●オリジナルの洋服やアクセサリなどを売る専門ショップが欲しいです。私がデザインした服を着ている人を見かけたら、もう最高。



●入選

「朝日のサンフジ」

■撮影者

長岡百合子さん（本町）

秋晴れの日に、知り合いのりんご園を訪ねてみた。そこには太陽の光をいっぱい浴びて、たわわに実ったサンフジが光り輝いていた。

（古模のりんご園より 二〇一〇年）

朝日自然観スキー場 十二月二十日オープン

待望のスキーシーズンがやってきました。今年も朝日自然観スキー場は、お得なバックやさまざまなイベントを企画しています。ホームゲレンデに朝日自然観スキー場をよろしくお願いします。お待ちしております。

▼オープン日 十二月二十日（土）午前十一時 安全祈願祭

▼オープン当日は、リフト代サービスとなります

朝日町にパイナップルが

大谷一の熊谷敏博さん方では、鉢植えのパイナップルが実を結び、近所の話題になっています。敏博さんは「五年前から観賞用」と思い、鉢植えしていました。毎年、夏に肥料をたくさんやり、冬は家の中で暖かくしていたのですが、まさか実を結ぶとは。これもエルニーニョ現象のひとつでしょうか」と語ってくれました。



早いもので今年も師走。みなさんにとって、一九九七年はどんな年だったのでしょうか。

私の場合は、毎日原稿に追われながら過ごしてきた、そんな気がします。もう少し早めに取材に行っていたら、編集に取り掛かっていればと、「たら」「れば」の繰り返し。来月号こそは「余裕をもって編集しよう」と目標を立ててみるものの、一度も実行することはできません。

春 夏 秋 冬

編集後記

した（知人に言わせれば、これはもともとの性格で、追い込まれないとしない性分らしい）。

そんな広報マンの取材依頼にも、いやな顔せずに引き受けてくれた町民のみなさん、本当にありがとうございます。「来年こそは…」と、あえてここでは明言せず、不言実行を美徳として、今年を締めくくりたいと思います。みなさんよいお正月をお迎えください。

